

奨学資金貸付申請書

年 月 日

(宛先)飯塚市長

○ 飯塚市奨学資金貸付基金条例第8条の規定により、奨学資金の貸付けを受けたいので、裏面の事項を誓約のうえ、関係書類を添えて次のとおり申請します。

本人自筆	貸付けを申請する者	ふりがな	いづか たろう			性別	男・女	
		本人氏名	飯塚 太郎					
		生年月日	0000 年 00月 00日生 (満 00歳)					
		現住所	〒0000-0000 (電話 0000-0000-0000) ※住民票の記載によらず現在住んでいる居住地を記載					
		在学学校	学校名	公立〇〇高校	専攻・コース	〇〇科	在学年	3年
			私立				正規の修業年限	3年
		入学を予定する学校	学校名	公立〇〇大学	専攻・コース	〇〇部〇〇コース	令和5年4月入学予定	
私立					正規の修業年限	4年		
申請区分	◎どちらかに○をつけてください。 1 高校等区分 (高等学校・高等専門学校での貸付けを申請する場合) ② 大学等区分 (専修学校・短期大学・大学での貸付けを申請する場合)							
自筆 親権者等	親権者等	ふりがな	いづか はなこ			本人との続柄		
		親権者氏名	飯塚 花子			母		
		現住所	〒0000-0000 (電話0000-00-0000) 飯塚市新立岩0番0号〇〇〇マンション0号室					
自筆 保護者等	保護者等	ふりがな				本人との続柄		
		保護者氏名	※上記と同じ場合は「同上」で可					
		現住所	〒 — (電話 — —)					
住民票上で世帯が一緒に なっている人を記載	同一生計の世帯状況	続柄	氏名	年齢	同居 別居	所得金額(千円) 給与所得額	備考 (学校名学年)	
		本人		18	同居		〇〇高校3年	
		母	飯塚 花子	40	同居	2,100		
		兄	飯塚 一郎	20	別居	360	〇〇大学2年	
合計額					2,460			

※1 本人、親権者又は未成年後見人はそれぞれ自筆で署名してください。
親権者等が保護者と同じ場合は、保護者欄に「同上」と記入してください。
※2 添付書類 (1) 住民票の写し (2) 所得証明書 (3) 在学証明書 (4月以降のもの)、入学を予定する者にあつては入学を予定する高等学校等の合格を証明する書類
(4) 市長が必要と認める書類の写し(該当がある場合のみ添付)

※3 貸付けを受けることができる期間は、貸付けが決定した以降の正規の修業期間です。

※4 他の奨学金と同時に申請することはできませんが、両方ともに受給することはできません(飯塚市奨学資金貸付基金条例施行規則第2条第4項で定めるものを除く。)

(誓約事項)

- 採用されたときは、奨学生としての自覚を持って勉学に励むとともに、飯塚市奨学資金貸付基金条例及び同施行規則並びに関係法令を遵守し、奨学資金の貸付けを受けた後、返還等の義務が生じた場合には、返還等の義務を誠実に履行していくことを誓約いたします。なお、返還にあたり所得状況等について、市県民税課税台帳を閲覧、記録することを承諾いたします。
- 親権者又は未成年後見人及び保護者は、申請者が奨学資金の貸付けを申請することに同意し、飯塚市奨学資金貸付基金条例及び同施行規則並びに関係法令を遵守し、奨学資金の貸付けを受けた後、返還等の義務が生じた場合には、連帯保証人として奨学生本人とともに返還等の義務を誠実に履行していくことを誓約いたします。なお、返還にあたり所得状況等について、市県民税課税台帳を閲覧、記録することを承諾いたします。
- 奨学生と連帯保証人は、奨学資金の返還を滞納した場合は、利息制限法に規定する賠償額の範囲で延滞利息を支払います。

申請者本人の自己推薦欄(自筆で記入)※必須

これから学校や社会でがんばりたいことや、奨学金を借りてどうしていきたいかなど、自己推薦を申請者本人が記載してください。

※ボールペンで記載してください。

本人自筆

申請者の生活費・学資を負担する者の、申請者本人推薦欄(自筆で記入)※必須

保護者等から見て、申請者本人が頑張っていることや、奨学金を借りる事情のほか、申請者本人を推薦する文章を記載してください。

※ボールペンで記載してください。

保護者等自筆